

第24回全国消防救助シンポジウムの開催

消防庁国民保護・防災部参事官

令和3年12月13日（月）、「要救助者と救助者の安全を守る火災時の救助活動」をテーマに、第24回全国消防救助シンポジウムを銀座ブロッサム中央会館（東京都中央区）において開催いたしました。新型コロナウイルス感染症対策として、ハイブリッド開催方式とし、会場及びオンラインから約3,000人の消防関係者にご参加いただきました。

内藤消防庁長官の開会挨拶に続き、清水全国消防長会会長からご祝辞をいただいた後、在日米海軍統合消防局佐世保署の草場秀幸氏から「消防隊員のための救助隊（RIT/RIC）と現場でのサバイバル技術」と題し、米国におけるRIT/RICの歴史や概念、日本での実運用についてご講演をいただきました。また、一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事のサニーカミヤ氏には「PPEの安全な取扱いとリスク管理について」と題し、火災現場における消防隊員の安全と健康を守る取組をご紹介します。

事例研究発表では、全国から選ばれた8名の消防職員による、それぞれの消防本部における取組、教訓及び災害事例を発表していただきました。また、総合討論では、事例研究発表者にご講演いただいた2名の講師を交えて活発な意見交換が行われました。

近年、火災の件数は減少傾向にあるものの、消防活動中の事故は発生し続けています。本シンポジウムを通して、多くの消防職員が火災救助における効果的な救助手法を学び、より安全な救助技術の向上に寄与することを期待します。（当日の配信映像はDVDにして配布する予定です。応募作品も含めた記録集も消防庁ホームページに掲載します。）



祝辞を述べる清水全国消防長会会長



草場秀幸氏の講演



サニーカミヤ氏の講演



総合討論の様子

第24回全国消防救助シンポジウム プログラム

I 開会

消防庁長官 内藤 尚志

II 祝辞

全国消防長会 会長 清水 洋文 様

III 基調講演

「消防隊員のための救助隊（RIT/RIC）と現場でのサバイバル技術」
在日米海軍統合消防局佐世保署 Crew Chief 草場 秀幸 氏

IV 事例研究発表

消防本部名	氏名	演題
大津市消防局	南 尊之	かぎ付きはしごを活用した火災救助事例
赤磐市消防本部	武智 誠治	実災害から学ぶ安全と迅速の両立について
神戸市消防局	結城 康之	火災現場で殉職者をなくすために（兵庫県下の取り組み）
青森地域広域 事務組合消防本部	山上 真一	ウェアラブルカメラで撮影した映像を教材とした火災教育訓練とその効果について
鳥取県西部広域 行政管理組合消防局	隠岐 拓真	殉職者ゼロを目指して
名古屋市消防局	長井 信二郎 長谷川 有喜 (発表者)	火災現場における緊急事態の未然防止と即応体制の強化
札幌市消防局	外崎 祐至	水力換気を応用した換気・火勢抑制システムについて
岡山市消防局	戸田 雄太	消防ヘリコプターを活用した死角ゼロの火災現場へ

V 教育講演

「PPEの安全な取扱いとリスク管理について」
一般社団法人日本防災教育訓練センター 代表理事 サニーカミヤ 氏

VI 総合討論

テーマ：「要救助者及び救助者の安全を守るための火災救助とは」
司 会：消防庁国民保護・防災部 参事官補佐 田中 亮三

VII 閉会

最新の救助トピックス、あいさつ
消防庁国民保護・防災部 参事官 村川 奏支

内藤消防庁長官の開会挨拶

第24回全国消防救助シンポジウムの開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まずは、全国から多くの消防関係機関の皆様をお迎えして、このシンポジウムを開催できることを、主催者を代表しまして、深く感謝申し上げます。

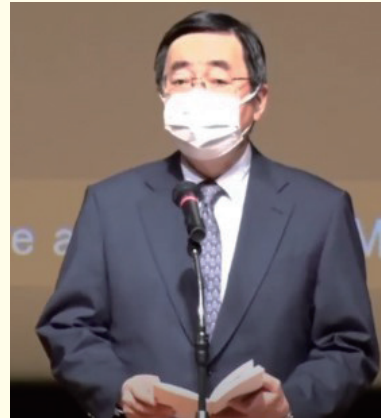
また、本日は、全国消防長会の清水会長にご臨席いただいておりますとともに、在日米海軍統合消防局佐世保署の草場様、一般社団法人日本防災教育訓練センターのサニーカミヤ様にも講師としてご参加いただき、御礼申し上げます。

救助隊員の皆様には、平素から昼夜を分かたず身を挺して懸命な救助活動を実施していただいていることに改めて敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

近年、全国各地で豪雨による災害が毎年のように発生しています。本年も7月に静岡県熱海市において大規模な土石流災害が発生し、また8月には九州北部地方を中心に広範な浸水等が発生し、甚大な被害をもたらすなど、自然災害による被害は後を絶ちません。

このような災害に対して、皆様には、地元消防本部はもとより、県内応援隊や緊急消防援助隊として出動していただき、多くの方々を救助していただきました。この場を借りて改めて厚く御礼申し上げます。

さて、本日のシンポジウムは「要救助者と救助者の安全を守る火災時の救助活動」をテーマとしています。近年、火災の件数は減少傾向にあるものの、活動中の事故は続いており、東京都八王子市での住宅火災や静岡県吉田町での倉庫火災において、活動に従事した消防職員が殉職する非常に



内藤消防庁長官の開会挨拶

痛ましい事故も発生しています。シンポジウムでは、講師のお二人から救助にあたる消防職員の安全を守る取組をご紹介いただくとともに、事例研究発表を通じて、それぞれの消防本部における取り組みや教訓を共有していただきます。効果的な救助手法を学ぶとともに、救助者である消防職員にとって、より安全な救助技術の向上につながることを強く期待しております。

消防庁におきましては、本シンポジウムのように現場活動に資する情報の共有・発信に努めるとともに、引き続き、緊急消防援助隊や常備消防力の強化、消防団を中核とした地域防災力の向上など、消防防災体制の充実強化に取り組んで参ります。皆様におかれましても、一層の救助体制の充実強化に努めていただきますようお願い申し上げます。

結びに、全国の消防関係機関のますますのご発展と、皆様のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

問合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付救助係
総務事務官 竹内 綾子
TEL: 03-5253-7507